

戸の臨時総会
て 特別調査委員会に協
力方願う」旨開会挨拶。
喜和会互助会として福祉
事業を開始することが承
特長ある販売を行い、米
国市場でGⅡⅡ（ゲルイ
美即会長が「日本の直面
する課題と進路」の演題
舞金、負傷見舞金）その
他特別の慶弔見舞等。

では初 に参入

のジャパンア
デジタル・ア
ング・コンソ
が運営するメ
ン・アイル
利用し、カウ
ャラクター

「カウ坊」をイメージし
た「カウネットパビリオン」
を設置して、様々な
事業ブランドやサービス
を訴求する。

具体的にはパビリオン
内で、ユーザーのアバ
ター（仮想空間におけるユ
ーザーの分身）が配布さ
れたミニトラックを運

しながらカウネットが手
掛けるの八つのサービス
の内容が見られる。また、
アバターが使う「カウ坊」
グッズのプレゼントも。

SO14001認証を取
得し、環境対策に取り組
んでいる。
事業高度化の取り組み
では、グリーン購入法適
合商品を中心に、環境に
優しい商品のPR・販売
を推進し、「オフィスの
エコチャレンジ応援団」
のキャッチフレーズのも
と環境のアドバイザー兼
パートナーとして商品を
販売。

スピード軽印刷、オリジ
ナルシールや個性的な名
刺の制作などの加工サー
ビスを手掛け、町の「つ
くれる文具屋さん」を目
指して営業を展開。大人
の塗り絵体験教室なども
開いている。木阪社長の
座右の銘は「良樹細根」。

オフィスのエコ対策を応援

中国経済
産業局選定
の「中国地
域の歴史あ
る中小企業
選」に、環
境対応文具
でオフィス
のエコ対策
を応援して
いる山口県
柳井市の紙
文具小売
業「(有)木阪

賞文堂」（木阪泰之社長）
が選ばれた。

選定基準は創業百年以
上で事業の高度化に取り
組んでいる中小企業。広
島・山口・岡山・島根・
鳥取地域から十四社が選
定された。

「歴史ある中小企業選」に 山口県・柳井市の「木阪賞文堂」

業「(有)木阪



木阪泰之社長



(有)木阪賞文堂は一八九
四年（明治二十七年）の
創業。環境問題への社会
的関心が高まる中、平成
十五年、山口県内の文
具小売業では初の環境

取引先に回収箱を設
置し、不要になった事務用
品（文房具、トナー）の
回収・分別・リサイクル
・廃棄まで行っている。
店頭では少量からの封
筒・のし紙・伝票などの
創業当時のたたずまいを
残した店舗

「+PLUS」で
トークイベント
オフィスファニチャー
初のBTO型ワークショ
ップ「+PLUS（プラ
ス・プラス）」で、十月
三十一日～十一月四日秋
冬コレクション家具や企
画展示、講師を招いてス
ペシャルトークイベント
が行われる。イベント初
日は「体験する色空間」